風と女と旅鴉（1958）

メディア 映画
ジャンル 時代劇　任侠・ヤクザ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 90分
初公開日 1958/04/15
公開情報 東映

【解説】
「いとはん物語」の成沢昌茂によるオリジナル脚本を元に「源氏九郎颯爽記 白狐二刀流」の加藤泰が監督した股旅もの。中村錦之助をはじめ、ほとんどのキャストがノーメイクで出演した異色時代劇として知られる。
故郷を捨てチンピラやくざとなった銀次は、年輩やくざ刈田の仙太郎と旅をしていた。二人は宿屋で強盗と間違われ、銀次が鉄砲で撃たれてしまう。傷を負った銀次だったが、甚兵衛の家に運び込まれると、人々の暖かさに触れていくのだった。銀次は回復すると仙太郎とともに両替屋銭屋庄兵衛門の用心棒として雇われた。そこへ鬼鮫一家の寅吉と三次が現れゆすりをかけてきた。仙太郎は三次を捕らえるのだが、銀次は寅吉をその場から逃がしてしまう。銀次は町の人々から疑いの目を向けられるようになり、また仙太郎は鬼鮫の半蔵から島帰りの凶状持ちだった過去を暴かれてしまう。

【クレジット】
監督 加藤泰
企画 辻野公晴
小川貴也
脚本 成沢昌茂
撮影 坪井誠
美術 井川徳道
音楽 木下忠司
録音 墨関治
照明 中山治雄
出演 中村錦之助
三国連太郎
長谷川裕見子
丘さとみ
薄田研二
殿山泰司
加藤嘉

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.